

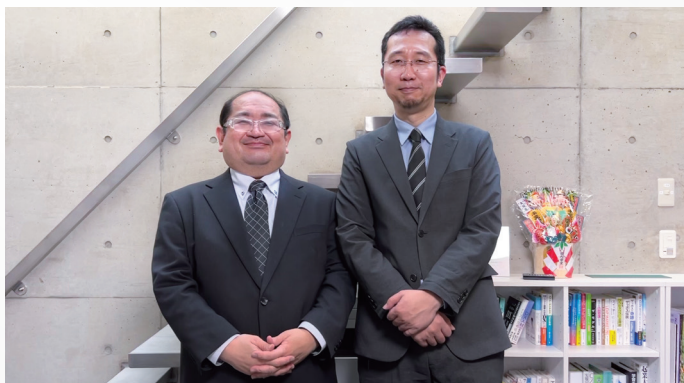
DXで悩みを抱える中小企業へ

マインドチェンジでデジタル化推進の手助けを

株式会社エディックス

京都市下京区中堂寺南町134番地 ASTEMビル8階

DXのプロが作ったベンチャー企業 中小企業の変革・未来への発展を支えたい



当社は2021年10月にICTの活用やDXなどに関する、人材育成（研修、セミナー、ワークショップ、各種教材の企画、開発、提供など）、組織開発、コンサルティング等を提供する会社として立ち上げました。

代表の枝川は前職の富士通ラーニングメディアにてITスキルやテクノロジーを中心とした技術研修の講師を経て、ビジネスの観点から取り組むDX人材開発、特にBTC型人材の育成や研修を中心に人材育成・組織改革に関する課題やお悩みを多数解決し、多くの大企業の成長に貢献してまいりました。テクノロジーを通じて世界が大きく変わる中、日本と海外を比較した場合、様々な課題が国内にあり、大企業だけ変革しても社会は変わらないという想いから、中小企業のDX化を支援するため、起業を決意。高品質な研修、セミナー、ワークショップの他、ニーズに合わせたテキストを用いたe-learning、動画など幅広い学習コンテンツを企画、開発を中小企業様向けにご提供しております。

当社は創業間もない若い会社ですが、DXの本質を伝えられる会社として中小企業の未来を支えていきたいと考えています。

中小企業が抱えている課題と DXの必要性をより深く知ることになりました

デジタル技術の活用を支援するサービスを提供するため、DXに精通した枝川が起業。そこへ私、西山が参画いたしました。アナログ営業出身の私は、頭ではデジタルツールの便利さは理解していますが、商談以外でも報告や連絡も口頭で済ましてしまうことが多く、苦手意識も手伝ってツールを有効活用できずにいました。社内での研修では、アナログにはない価値を手軽に得られるメリット、時間的コストやヒューマンエラーの削減、正確性の向上が得られる事例など数多くを学び、デジタル技術を活かしたDXについての知識量を蓄えられているつもりでした。

しかし前述の通り、いざ各種デジタルツールを使うとなると億劫になり、口頭や肌感覚に頼ったコミュニケーションからの脱却ができていませんでした。そこで、知識をアウトプットし、客観的に自身を見直すために「DX人材育成講座」を受講しました。

受講を通じて、各企業の受講者の方々と様々な情報交換をさせていた

できました。お互いが抱えている問題や悩みなどを率直にディスカッションする中で「他社が抱えている課題を知ること」が出来ました。

そして、業種業態を問わず、生活環境の変化やデジタル化の加速に伴う急速な社会変化が、多くの中小企業の事業承継、事業継続、業務効率化、人手不足の解消などの課題となっていることを実感し、DXの必要性を生々の声を聞くことで痛感しました。

また講座を受けたことにより、「自社のサービスについて、改めて理解を深める」ことができ、当社が提供するサービス・知識・理解・技術などの全てが正当であることを再確認することもできました。

ワークショップ・グループワークを通じて 自己の中に内在していた課題と向き合う

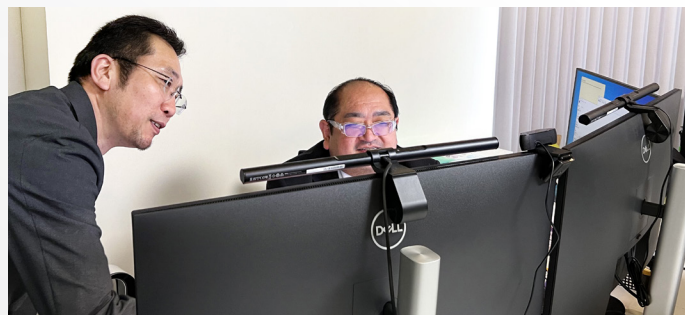
講座へ参加された企業の受講者の方々には様々なバックグラウンドがあり、立場や役職などでもDXへの捉え方が異なり、業種や年代などによってもITリテラシーに大きなギャップがありました。

そのようにグラデーションのような背景を持つ場合に「DX導入で解決」と簡単には片付けられない状況があることにも気付きました。

ワークショップやグループワークを重ね、自ら意見を積極的に述べ、また主体的に議論をリードし、皆さんの意見を集約していく中で、周囲を巻き込んでいく力、「DX推進企画書」作成を行う中では課題設定をする力などが身につく、今まで消極的だったデジタルツールの活用への好奇心が生まれるなど、さまざまな自分自身の変化に驚きました。講習から帰社後には社内でも受講を振り返り、DXについてのコミュニケーションや報告を行いました。

そうやって様々なスキル、知識、マインドが事業変革を行う上で重要だということを理解し、改めてDXの本質を理解することができました。そして、自己の中に内在していた課題に気づき、向き合うこともできました。

優れたシステムやデジタルツールがあっても利用する人が積極的に活用しなければ変化は起こりません。変化を恐れず、積極的にチャレンジすること。慣れたやり方の方が安全で速いと安易に考えがちです。私自身も根底ではそう信じていました。古い慣習を変えていくことにはパワーが必要です。そのためには個人個人が積極的に意識改革をしていくことが重要だということ、まさに自社のセミナーで伝えていることを認識させることが目的で受講を勧められたのだと気づきました。



今後の導入に向けて、DXを伝えられる人材へ

私自身の経験を活かし、積極的にデジタルツールを活用しながら課題を抱えている中小企業の方々の声が聞けるアナログとデジタルとを繋ぐハブ人材としてお役に立ちたいです。また、増員される社員のために社内環境を整備していくことも重要です。そのために、より良いテクノロジーに自発的に出会うことを続け、能動的に活用できるよう常に意識改革と成長を続けられるよう取り組んでいます。